

新春対談



新成人×市長

これからの社会を担っていく若い世代の中から、令和3年成人式実行委員を務める各中学校の代表5名を迎え、谷島市長と「石岡の将来」について語っていただきました（敬称略）。
※府中学校卒業生は都合が合わず欠席となりました。

市長 石岡市長の谷島洋司です。本日は、お集まりいただきありがとうございます。緊張せずに、リラックスしてお話してもらえればと思います。よろしく願います。

石岡で生まれ育った今思う、石岡の魅力と課題

市長 早速ですが、皆さんは石岡市の良いところはどこだと思いますか？

友部 私は、生まれも育ちも石岡市で、今も東京の大学まで、電車で通っています。毎日利用する石岡駅は、とても身近な場所で、安心できる一番好きな



▲石岡駅西口側から見た駅舎

市長 石岡駅は、平成28年3月に橋上駅舎になって、高齢者や身体の不自由な皆さんにも利用しやすくなっています。自由通路の滝平次郎氏作のステンドグラスもいいですよ。私はなんといっても、ホームによって異なる発車メロディが奏でられるところが素晴らしいと思っています。



場所です。新しくなった当時、綺麗で驚いたことを今でも覚えています。



Kobayashi Nao
小林 那央
(園部中学校卒)

水戸の専門学校で法律や行政について学んでいる。将来の夢は高校生の頃から地方公務員。休日は常陸風土記の丘を散歩するのが好き。

Suzuki Kousuke
鈴木 洸介
(城南中学校卒)

土浦市のガソリンスタンドに勤務し、車の整備を行う。将来の夢は、自身で車関係の会社を立ち上げること。小学校から野球をしている。

Hasegawa Koushi
長谷川 光紫
(八郷中学校卒)

東京の大学で心理学を学んでいる。将来の夢は精神福祉士になって、困っている人を助けること。現在、資格取得に向けて勉強中。

Wakayama Senri
若山 扇里
(石岡中学校卒)

茨城大学で法律経済や行政法・行政学について学んでいる。毎年石岡のおまつりに参加し、お囃子を踊っている。将来の夢は地方公務員。

Tomobe Shouta
友部 翔太
(国府中学校卒)

東京にある理系の大学まで、電車通学している。小さい頃から高校までずっと空手一筋。将来の夢は、自動車製造の仕事に就くこと。

若山 私は毎年石岡のおまつりに参加しています。今年は残念ながら延期に



話題性のある素材は豊富にあるまち、石岡

友部 はい。ただ、残念なこともあって。駅周辺が寂しいなって。駅前から延びる御幸通りが、休日シャッターが閉まっていたりします。駅前にもっと賑わいがあれば、観光客やまちの人なども集まりやすいのかなと思います。

市長 たしかに石岡のおまつりでは、たくさん観光客が来てくれますが、なかなか何度も足を運んでくれるまでにならない。せつかく50万人もの人が石岡を訪れてくれるのだから、もっとホスピタリティを上げて市の魅力を知ってもらい、リピーターを増やしたいと思っています。参加者は目いっぱい盛り上げてもらって、行政は参加者をサポートし、来てくれる人をもてなす役に徹する、住み分けが大切ですね。

若山 ありがとうございます。石岡はおまつり以外にもたくさん魅力があるのに、それを発信できていないようにも感じています。八郷地区では、果樹栽培が盛んで、皇室に献上している柿



▲石岡のおまつり「おっしゅい隊」

なってしまうましたが、常陸國總社宮によるオンライン配信では、守横町から参加し、お囃子を踊りました。石岡のおまつり、常陸國總社宮は私にとっても大好きで、特別な場所です。

市長 石岡のおまつりは関東三大祭りにも数えられるほど有名ですが、中でも素晴らしいのが「おっしゅい隊」。女性が輝いているお祭りですよ。ぜひこれからも大切にしていただきたいと思っています。

があると思いますが、あまり知られていません。話題性のある素材は豊富にあると思います。



▲審査を通過して桐箱に詰められる富有柿

市長 石岡市は、果実の南限と北限が交わる地域のため、豊富な種類のフルーツが採れます。若山さんがおっしゃったように、八郷地区で採れた富有柿は、毎年審査会を行って、皇室に献上されています。石岡市のアピールポイントの一つとして、これからさらに力を入れて広報していきたいと思えます。

長谷川 僕が、石岡市の魅力だと思うのは「優しい人が多い」ということです。**市長** どのような時にそう感じたのですか？

長谷川 コンビニでアルバイトをして

いるのですが、お客さんが目を見て「ありがとう」と言ってくれたり、家の近所を通ると「おかえり」と笑顔で声をかけてくれたりしたときに石岡の人の温かさを感じます。

市長 石岡市には、自然・人・産物・施設と、多岐にわたって魅力的な材料があるということも、皆さんのお話を聞いて改めて感じました。

2021年4月には、茨城県フラワーパークが「いばらきフラワーパーク」としてリニューアルオープンする予定です。それに併せて、筑波山や八郷盆地を望む高台に併設されている石岡市ふれあいの森も、宿泊施設やグランピングサイトを備えた滞在型観光施設として生まれ変わります。ぜひ完成を楽しみにしていただきたいと思います。



▲「いばらきフラワーパーク」完成イメージ

大切にしていきたい

地域の伝統行事



鈴木 私は、生まれてからずっと関川地区に住んでいて、小学生の頃はダイダラボッチという疫病退散の大人形を地区のみんなで作っていました。でも、今は人手不足で、作ることができなくなってしまいました。また、以前は地区全体で運動会も行われていたのですが、それも今は高齢化で難しい状況です。それが寂しい。小さい地区だからこそその仲間意識・団結力があると思うので、そういった賑やかさを地区に取り戻したいと思っています。

市長 ダイダラボッチは、貴重な民俗資料として市の指定無形民俗文化財になっています。その他にも、石岡市は昔からの民俗習慣が多く残っている地域だと言われています。関川地区、地域性があってとても良い場所ですよ。



▲地区入口に置かれるダイダラボッチ

鈴木 はい。ただ、住んでいて不便に感じることは、交通の便です。車が必須なので、高齢者や車のない学生たちは誰かの送り迎えがないと出かけられない状況です。

市長 公共交通の問題は、これからどんどん大きくなっていくと思います。不便になると人はもっと住まなくなってしまう。これからは、住民同士行政同士、そして双方が互いに支え合いながら、地域社会を作っていくかなければならないと感じています。

4月から稼働予定のごみ処理施設「霞台クリーンセンター」も、石岡市、小美玉市、かすみがうら市、茨城町の4市町のごみを一か所に集約することで、経費削減と効率化を図っています。これからの社会は、行政の枠を超えて、広域で行政課題解決していかなければならないと思います。

鈴木 質問なのですが、高浜駅は新しくなる予定はあるのでしょうか。また、母校の城南中学校の跡地もなかに利用する可能性があるのでしょうか。



▲旧城南中学校

市長 高浜駅については、都心から1時間強にも関わらず、特急は止まらず、むしろ常磐線の中で、一番特急待ちが多い駅だそうです。でも、左右を見渡すと霞ヶ浦と筑波山がよく見えるとても眺めのいい駅なんですよね。高浜駅を今後どのように活用していくのかは、市としての課題だと感じています。城南中については、高浜駅から徒歩5分という立地を生かして、駅と結び付けた活用方法を考えていけたらと思います。今後、地域の皆さんとも相談しながら決めていきたいと考えています。石岡駅と高浜駅、2駅を良くすることで、石岡市に魅力を感じて「住んでみよう」「戻ろう」という人が増えてくれることが、市としての希望です。

新成人の夢や希望が かなえられるまちに



長谷川 私は、現在大学で精神保健福祉士の資格取得を目標に勉強しています。今のご時世、精神的に弱っている人が多く、それを苦に自らの命を絶ってしまう人も増えています。そんな方たちを病院や学校のカウンセラーとして支え、寄り添える人になりたいと思っています。

市長 石岡市には精神科のある病院が3か所あります。豊かな自然環境が精神的なリハビリに向いているのかもしれないですね。そういった土地柄を生かす治療もぜひ頑張ってもらいたいと思います。応援しています。

長谷川 ありがとうございます。

ところで、谷島市長はなぜ市長になろうと思われたのですか？

市長 石岡市がどうしたら良くなるか、なにが必要なのか、一番わかって

いるのは市民である私たちです。そんな市民の代表となり、県や国に支援を求められるのは、市長だけだと思ったからです。

新成人の皆さんの夢や希望が叶えられるまちにできるよう、これからも市政に取り組んでいきたいと思っています。



石岡市が好き

私が地元に残る理由

小林 私は、高校生の頃から地元で公務員として働くことが夢です。先日のことですが、市内の道路を車で走っていて、道が悪いなと思ってっていると、次に通った時には直っていました。職員の皆さんが、地域の状況をいち早く察知し、熱心に仕事をされているからこそだと思います。私も、住んでいる人に暮らしやすいまちだと思ってもらえるような仕事をしたしたいと思います。

市長 若山さんも公務員志望でしたね。
若山 はい。地方公務員として、地域

活性化に携わりたいという強い思いがあります。大学などへの入学を機に首都圏にでた若者が卒業後も地方に戻らずそのまま就職し、地方は過疎化するという現象を授業で学びました。若者が地方に戻ってくるには、どうしたらいいのかわかり、考えています。

市長 それは石岡市の課題でもありません。働く場所、子育て、病院：理由は様々ですが、一番はふるさとである石岡に魅力があるかどうかです。ふるさとを知り、郷土に対する愛着と誇りを育むため、市内小中学校で取り組まれているのが「ふるさと学習」です。郷土を知ることが、己を知ることにつながります。

小林 私は、子どもの頃から常陸風土記の丘が好きで、今でも休日には散歩したり、大きな獅子頭を見に行ったりして気分転換しています。市長が、石岡市内で好きな場所はどちらですか？



▲常陸風土記の丘の獅子頭



※当日は、体温測定・手指消毒・アクリルボードなど、新型コロナウイルス感染症対策を万全にして実施いたしました。

市長 私は、山々、恋瀬川、霞ヶ浦があり、気候も温暖な石岡の風土が好きです。東京に通っていた時に感じたのは、夜電車から駅に降り立った時、見上げた夜空の星がすごく綺麗に見えること。それが、石岡に帰ってくるきっかけのひとつになりました。皆さんも、それぞれが感じる石岡の魅力を大切にして、夢に向かって羽ばたいてください。私も目指すべき石岡の未来に向かって頑張ります。今日はありがとうございました。

新成人一同 ありがとうございます



ご協力いただいた新成人の
みなさんありがとうございました

～市長との対談を終えての感想を聞いてみました～

若山 普段なかなかお会いできない市長とお会いできたことで、とても身近に感じました。このような場を設けていただきありがとうございました。

友部 とても親しみやすい市長で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。これから石岡市がどのように変わっていくのか楽しみです。

小林 市長というと、今まで堅苦しいイメージがありましたが、終始笑顔でいてくださり、緊張せずに話すことができました。

鈴木 祖母が市長とお話したことがあって、気さくな方だと聞いていましたが、思っていた以上にとてもフレンドリーで素敵な方でした。石岡のことを一番に考えてくれていることが伝わってきました。

長谷川 市長とは家が近所なのですが、このような形で話すことはなかったので、最初は少し緊張しました。でも、僕たちの意見もしっかり聞いて受け止めてくれ、市長のお考えも話してくれたことで緊張がほぐれました。石岡市がこれからもっといいまちになればいいと思います。